

●国産材の主産地形成

■くまもと型新木造住宅
「郷の匠」の普及促進

●「郷の匠」は県産の乾燥材を使用し、快適な確保に必要な種々の工法を取り入れた高性能住宅建築の工法です。

●新時代に対応する栽培漁業

■海洋牧場（マリノベーション）構想の推進

●21世紀に向けての水産業をめざして、八代海で天然飼料の増殖・海域遡進・沖合養殖をシステムとした海洋開発を行っています。

●日本づくり運動の推進

●量的な意味での日本一ではなく、地域が「どこよりもここだけ」の得意技を持ち、生き生きとした創造的な活動の場づくりをめざすこの運動も、多方面で着実な成果を挙げています。



桜の里(水上村)

●集客拠点づくり

■集客の積極的展開

●熊本県への観光客は順調に増加し、昭和63年には3343万人を記録しました。今後さらにキャンペーンの展開、観光地整備整備等を促進し、観光客総数3500万人達成を目指します。



白鶴ヶ浜(天草町)

●先取り即応の行政

■情報公開制度の推進

●県民の皆さんが求める情報やお知らせたい情報を、積極的に提供する制度です。県庁1階ロビーに総合窓口（熊本情報ラザ）があります。

●新教育立県構想の推進

■特色ある学校づくり

●「伝統的な建築技術を学びたい」、「特技のサッカーを生かしたい」——こんな要望に応える学科の設置など、学問・スポーツ・文化活動等の特色のある学校づくりが進んでいます。

●社会資本の整備

■九州各県主要都市間150分構想の推進

●熊本都市圏と九州各県主要都市間を150分で結ぶ日帰り交通圏を目指し、熊本の拠点性を高めます。

■県内主要都市間90分構想の推進

●熊本空港及び熊本都市圏と県内地方主要都市とを90分で結ぶことを目指し、県土の均衡ある発展を図るとともに、地域の活性化を推進します。

■くまもととアートポリス構想の推進

●建物・住宅団地・橋など世界の英知を結集して地域の環境デザインの上を築くとともに、後世に残せる文化資産の創造に努めています。1992年に第1回国際建築展「くまもととアートポリス'92」を開催する予定です。



三角港旅客ターミナル完成予想図

■水俣の環境復元

●水俣湾の堆積汚泥の浚渫、埋め立て事業は今年度完了の予定です。埋め立て地の活用について検討しています。

明日へのシナリオ
100のターゲット

●名水100選

日本全国にある清流、特に湧水と表流水を中心に、優れた自然の再発見をしようと環境庁が定めた名水100選。熊本県には、最多の4水が選ばれています。

- 白川水源(阿蘇郡白水村、白川吉見神社境内)
- 池山水源(阿蘇郡産山村)
- 菊池水源(菊池市)
- 轟水源(宇土市)



●日本100名山

阿蘇山
シルクロード探険やヒマラヤ登山で知られる山岳紀行家深田久弥さんが選定した日本の名山100選。山の品格、歴史、個性を判断基準としています。

●ふるさと熊本の木100選

昔から親しまれてきた古木・名木。豊かな緑に溢れるふるさと熊本の美しい自然を大切に守っていくため、昭和55年度に発足しました。登録第1号は北部町、釜尾の天神木。



●百(100)のつく地名・名称

百間町(ひゃくけんちょう)

水俣市の一地区。寛文7年(1667)、水俣惣屋屋深水頼秋が埋めたてて塩浜など40ヘクタール余を開きました。その時築かれた塘が「百間塘」と呼ばれ、この地区の呼び名となりました。国道3号線沿い。

百貫石(ひゃっかんせき)

熊本市西部の坪井川河口にある地区。裏山の巨大な岩石が名前の由来と伝えられます。明治32年(1899)の国鉄三角線の開通により、港としての働きがなくなるまで、坪井川沿いの港として、多くの廻船問屋や魚問屋が並び栄えました。

百太郎溝(ひゃくたろうみぞ)

球磨郡多良木町百太郎で球磨川から取水、岡原村、免田町、上村を通って錦町に至る灌漑用水路。最初の掘削工事は16世紀末ごろといわれているが詳細は不明。藩の援助も指導者もおらず農民の力だけで掘られ、名称も百太郎という人が人柱に立ったとの伝説に由来します。

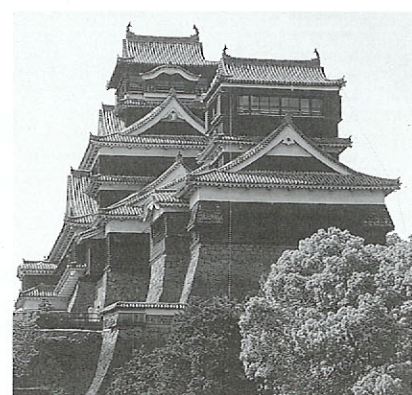
※その他「百」のつく地名・名称 —— 百間まぶ(鹿北町)・百塚(熊本市)・百梅園(熊本市)

わたしは、ふるさと熊本のココが自慢です。

100人に聞いた

くまもと 県内の100人を対象に6月下旬に行った電話によるアンケート調査結果から/複数回答

- 第1位 阿蘇……43% (南阿蘇・外輪山 含む)
- 第2位 天草……35% (天草全域)
- 第3位 熊本城……27% (二の丸公園等含む)
- 第4位 水がおいしい 食べものおいしい ……22%
- 第5位 県民性……20%
- その他 水前寺公園・江津湖・古墳群・熊本弁・球磨川・やまなみハイウェイ 加藤清正・人吉城跡・緑が豊富・八千代座…



アンケートの声から

- 「阿蘇はやはり、りんどうやすみれが咲く頃がいいです。」 (28才男性)
- 「水がおいしいことです!! よその県からのお客さんに誉められると嬉しいですね。」 (47才女性)
- 「外国に行ったとき、向こうの水で米を炊いたんだけどおいしくないんですよ。やはり熊本の水はおいしいですよ。」 (60才女性)
- 「熊本弁は乱暴だとよく言われますが、実際は人情味のある温かい言葉だと思います。」 (35才女性)
- 「熊本の古墳群。まだまだ発掘されていないから、歴史の宝庫のようなもの。」 (33才男性)